

クライアントをセラピーや他の支援専門家に紹介するタイミングと方法*。

ホワイ	WHEN**	ハウ
<ul style="list-style-type: none"> • コーチの倫理的責任 • 心理療法はコーチングの業務範囲外です。 • 回復には介入が重要 • 介入することで命が救われるかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の能力・経験の範囲外の問題である • 日常生活に支障をきたす問題 • コーチングで上達するための障害となる課題 • 心理的な問題であり、根深い感情を扱うものであること 	<ul style="list-style-type: none"> • 直接的に、そして冷静に • 心配りや気遣いを表現する • 具体的な行動を指摘する • 耳を澄ます • クライアントに助けを求めるよう促す • 治療の正常化 • 紹介する
徴候・症状	非常事態	
<ul style="list-style-type: none"> • イライラ、怒り、不安、悲しみなどの顕著な気分の変化。 • 職場や学校でのパフォーマンスの低下 • 社会的関係や活動からの離脱 • 体重や外見の変化、身だしなみの不摂生など • 睡眠障害（過眠、入眠困難、睡眠維持困難のいずれか） • 絶望感や自殺願望がある。 <p>セラピーを受けるべき一般的な問題には、不安、うつ、摂食障害、外傷後ストレス、薬物乱用、自殺念慮、思考障害などがあります。</p>	<p>誰かが自傷したり、他人を傷つけたりする危険が差し迫っていると思われる場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の緊急電話番号に連絡する • 救助が到着するまで、その人のそばにいる • 危害を加える可能性のある手段を持っているかを聞く • 話を聞くが、批判、議論、脅し、怒鳴りはしない。 <p>誰かが自殺を考えていると思ったら、危機管理ホットラインや自殺防止ホットラインで助けを求める。</p> <p>危機管理センターの連絡先</p> <p>世界のビフレンダー https://www.befrienders.org/</p> <p>国際自殺予防協会 https://www.iasp.info/resources/Crisis_Centres 国際自殺予防Wiki http://suicideprevention.wikia.com/wiki/International</p>	

* その他の支援専門家には、サポートグループ、メンター、専門コーチ、スピリチュアルな代理人などが含まれます。クライアントをセラピーに紹介する」を参照してください。指標と紹介プロセスの詳細については、"Referring Client to Therapy: A Set of Guidelines"を参照してください。

** 精神的な健康はスペクトル上にあることを心に留めておき、症状の期間、頻度、強度に注意する。不安な場合は、上司や精神保健の専門家に相談することも考えてください。

出典 米国精神医学会。(2013). *精神疾患の診断・統計マニュアル (DSM-5)* (第5版). Arlington, VA: American Psychiatric Association. アメリカ心理学会.(2017). www.apa.org から取得。
ICFが実施した定性的調査。

として引用する。Hullinger, A. M. and DiGirolamo, J. A. (2018). クライアントをセラピーに紹介する。ガイドラインの一例。国際コーチング連盟のウェブサイトから取得：www.coachingfederation.org/client-referral-one-sheet.

